



## TKK 共通シラバス

1. 科目名	環境ボランティア論				
2. 教員名	梶原 洋		3. 担当大学	東北福祉大学	
4. 対象学年	2年生以上	5. 開講時期	後期集中	6. 単位数	2単位

7. 授業の目的・到達目標（神）、授業のねらい及び具体的な達成目標（工）、授業の概要（内容）・到達目標（東）					
<p>近年、環境問題にたいする意識の高まりを背景とし、環境ボランティア活動が注目され、地球温暖化、生物多様性の保全、3R（Reduce、Reuse、Recycle）の推進、エネルギー、酸性雨、オゾン層の破壊、水資源など多様な問題への取組、持続可能な社会づくりのために私たち一人ひとりの主体的行動・活動が求められています。</p> <p>本講義では環境分野の第一線で活躍する研究者・実践者等から現状と課題、今後の展望などを多面的に学んでいきます。</p> <p>社会貢献活動支援士に求められる5つのコンピテンシーのうち、特に受容的コンピテンシーおよび応用的コンピテンシーを習得することを目標とする。</p>					
8. 授業のキーワード（神）					
9. 授業の進め方（神）、授業の方法（東）					
主題ごとに専門家によるオムニバス形式の講義になります。					
10. テキスト、参考書、指定図書（神）、教科書・参考書等（東）					
テキストは無く、講義内で必要に応じて資料の配布や参考文献の紹介を行います。					
11. 授業時間外に必要な学修（神）、事前・事後に受講してほしい講義等（東）					
<p>【事前に受講してほしい講義等】</p> <p>ボランティア活動論、福祉ボランティア活動Ⅰ</p> <p>【事前に受講してほしい講義等】</p> <p>福祉ボランティア活動Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ</p>					
12. 提出課題など（神）					
講義時に指示します。					
13. 成績評価方法・基準（神）、成績評価方法及び水準（工）、評価の方法・基準（東）					
評価は、授業内のコメントカードへの記載内容や受講態度(30%)、レポート課題(70%)とします。					
14. 履修するにあたって（神）、学生へのメッセージ（工）、授業時間外学習（予習・復習）・履修上の注意事項（東）					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞、テレビ等の環境活動の動向に関心を持ちそれについて考えてください。</li> <li>・3分の2以上の出席がない場合は、試験を受けることができません（欠格条件）。</li> <li>・20分以上の遅刻は欠席とみなします。</li> </ul>					
15. 参考（オフィスアワー（工）等）					

## 【授業計画（神）（東）、授業計画及び準備学習（工）】

講義番号	主題	内容
第1回	ガイダンス	環境とボランティアについて考える
第2回	ESD（国連「持続可能な開発のための教育の10年」①）	持続可能な開発と環境の取組について学ぶ①
第3回	ESD（国連「持続可能な開発のための教育の10年」②）	持続可能な開発と環境の取組について学ぶ②
第4回	自然体験・自然教育	自然学校の実践内容から環境と自分との繋がりを学ぶ
第5回	企業における環境の取組	企業が取り組む環境活動について学ぶ
第6回	環境心理学①	心理がもたらす環境に関わる人の行動について学ぶ①
第7回	環境心理学②	環境心理がもたらす環境に関わる人の行動について学ぶ②
第8回	温暖化	温暖化の仕組みや現状について学ぶ
第9回	農業と環境	農業を通してできる環境活動について学ぶ
第10回	福祉施設における環境の取組	福祉施設が行う近隣住民との環境活動について学ぶ
第11回	環境変化と人類の歴史	環境変化と人類の歴史について学ぶ
第12回	市民との協働による環境教育・学習の推進	市民との協働からみる環境教育・学習について学ぶ
第13回	水・スポーツ・地域の自然などから環境を考える	さまざまな場面や自然から環境についての課題を学ぶ
第14回	暮らし	暮らしから見た環境活動について学ぶ
第15回	食育・学校での環境教育実践	小学校で取り組まれた食育を通しての環境教育実践について学ぶ

【コンピテンシー】 ※コンピテンシーについての詳しい説明は[こちら](#)。

（下記に、身につけることが期待されるコンピテンシーを5段階評価でご記入ください。期待度が高いほうが5、低いほうが1です。）

コンピテンシー	ポイント
マインド的コンピテンシー	2
成果を挙げるためのコアコンピテンシー	2

受容的コンピテンシー	4
応用的コンピテンシー	4
対人・集团的コンピテンシー	2

コメント

--